

# 付録

## ハラール経済：インドネシア、 バングラデシュ、GCC（湾岸協 力会議）、マレーシア、シンガポ ールの比較分析



**GLOBAL ANGLE**  
RESEARCH ACCESS TO ANY SPOT IN THE WORLD

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### Majlis Ugama Islam Singapura (MUIS): シンガポール唯一のハラール認証機関



図1: MUISロゴ

Majlis Ugama Islam Singapura (MUIS、イスラム宗教評議会) は、シンガポール国内で唯一のハラール認証を担当する公的機関です。1968年に「イスラム法令法 (AMLA)」の下で設立され、MUISはイスラム教徒に関連する行政全般において基本的な役割を担っており、ハラール基準の遵守を確保し、多様で多文化的なシンガポール社会における信頼の醸成に貢献しています。

### MUISの規制機関としての役割

MUISは、文化・コミュニティ・青年省の管轄下にある**独立した法定機関**

(independent statutory body) として運営されています。MUISは、厳格なイスラム教の食事規定を遵守することによってハラール認証製品およびサービスの完全性を保護し、シンガポールにおけるムスリム社会の消費者信頼を強化する責務を担っています。その主な責任には以下が含まれます：

- ハラール認証における**唯一の規制当局 (sole regulatory authority)** としての役割を果たすこと。
- 国際的なハラール認証機関と協力し、貿易を促進しグローバルコンプライアンスを維持すること。

ハラール製品と非ハラール製品との交差汚染を防止するための強固な規制枠組みを実施しています。

<sup>1</sup> <https://www.muis.gov.sg/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### MUISのハラール認証スキーム

飲食施設スキーム	レストラン、カフェ、飲食店向け
調理エリアスキーム	業務用キッチンやケータリング施設向け
食鳥解体場スキーム	新鮮な鶏肉の解体処理を行う施設向け
エンドースメントスキーム	輸出を目的とした特定製品または貨物向け
保管施設スキーム	ハラール認証製品や原材料を保管する倉庫・施設向け
製品スキーム	シンガポール国内で製造または加工された製品向け
工場全体スキーム	製造工場およびその中で製造されるすべての製品向け

この体系的なアプローチにより、幅広い業種の企業がハラール基準への適合を達成できるようになります。

### 申請プロセス

シンガポールでのハラール認証申請は、**MUISを通じてのみ (exclusively)** 行う必要があります。認証プロセスの流れは以下のとおりです：

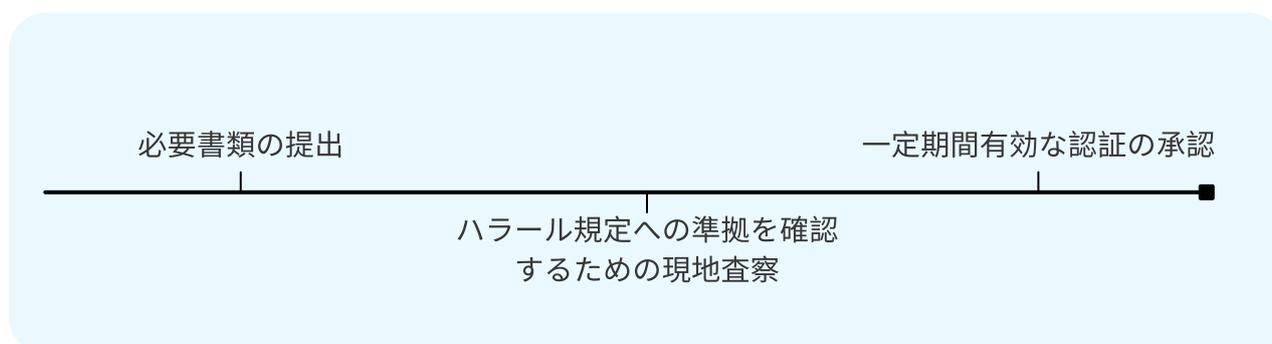


図2: MUISハラール認証の申請プロセス

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

MUISの認証は、シンガポール国内外で広く認知されており、ハラール認証における信頼できる規制機関としての評判を確立しています。

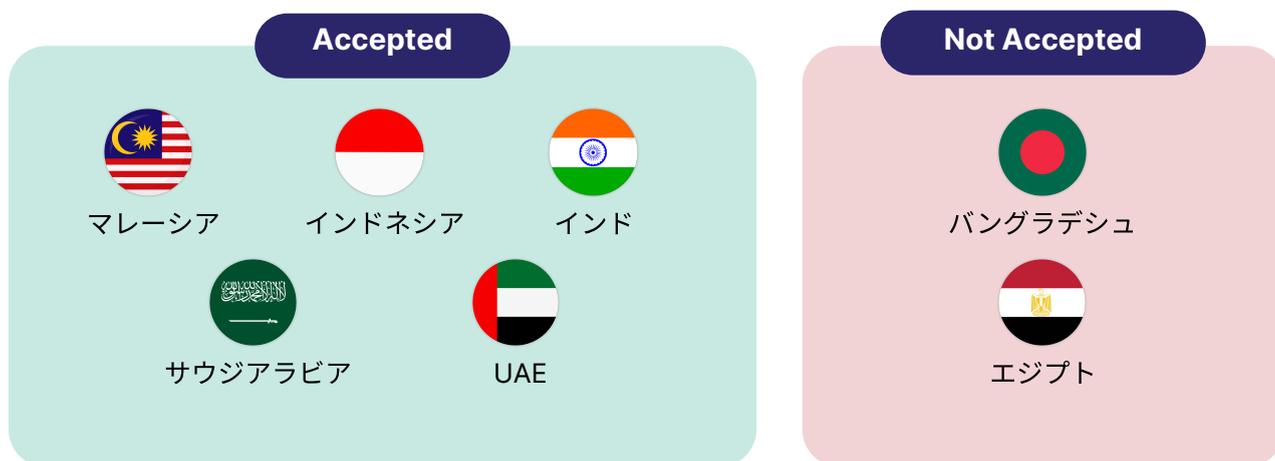


図3: MUISハラール認証の受容状況

### 消費者の信頼と制度的信頼性

MUISは、シンガポールのムスリム消費者の間で高く評価される制度としての地位を確立しています。その厳格な認証プロセスにより、すべての認定製品および施設が厳格なイスラム教の食事規定を遵守していることが保証されており、国内外の市場において消費者の信頼を築いています。

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### Jabatan Kemajuan Islam Malaysia (JAKIM): マレーシアにおけるハラール認証の主管機関<sup>2</sup>

Jabatan Kemajuan Islam Malaysia (JAKIM、マレーシア・イスラム開発局) は、英語で「Department of Islamic Development Malaysia」として知られ、全国のイスラム関連業務を所管する連邦政府機関です。マレーシアにおけるハラール認証を担う唯一の機関として、JAKIMは国内全体でハラール基準の完全性を維持するうえで不可欠な役割を果たしています。



図4: JAKIMのロゴ

### JAKIMの規制上の役割

JAKIM (マレーシア・イスラム開発局) は、マレーシアにおけるイスラム関連業務全般を監督する政府機関として機能しています。これには、ハラール基準の確立と施行、ハラール認証の発行、およびコンプライアンスを維持するための関連政策の策定が含まれます。

主な責務は以下の通りです：

- マレーシア国内でのハラール認証における唯一の権限を持つ機関としての役割。
- ハラール要件への適合を確保するための輸入品の規制。
- ハラール認証製品が厳格なイスラム指針に準拠していることを保証し、それによって消費者の信頼を高めること。

<sup>2</sup> <https://www.islam.gov.my/ms/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### JAKIMが発行するハラール認証のカテゴリー

JAKIMのハラール認証制度は、通常、以下のような幅広い業界を対象としています：

食品・飲料製品	加工食品、飲料、原材料に対する認証
屠殺場および食肉製品	イスラム教の屠殺（ザビーハ）規則の厳格な順守を保証
化粧品およびパーソナルケア製品	スキンケア、トイレタリー、美容製品において非ハラール成分が含まれていないことを確認
医薬品	医薬品および健康補助食品がハラールに準拠していることを認証
物流および輸送	ハラール製品が認証された条件の下で適切に取り扱われ、保管・輸送されていることを保証
レストランおよび飲食施設	ハラール食品のみを提供する飲食施設の認証
その他の消費財	ハラール表示のある各種消費財への認証の拡大

この包括的な認証体系により、企業はさまざまな業界において信頼性のあるハラールステータスを取得しやすくなります。

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### Badan Penyelenggara Jaminan Produk Halal (BPJPH) = インドネシアにおけるハラール認証の 規制当局<sup>3</sup>

Badan Penyelenggara Jaminan Produk Halal (BPJPH) は、「ハラール製品保証運営機関」として翻訳され、インドネシアにおけるハラール認証の管理と規制を担当する主要な政府機関です。

この機関はインドネシア宗教省の管轄下であり、各業界におけるイスラム教の原則に則ったハラール製品の保証とその順守を監督する責務を担っています。



図7: BPJPHロゴ

### BPJPHの規制上の役割

BPJPHの主な責務は以下の通りです：

- インドネシアのハラール認証プロセスの監督と管理
- 他の規制機関との連携による検査および監査の促進
- インドネシア・ウラマー評議会 (MUI) によるファトワ (イスラム法学上の見解) に基づいたハラール証明書の発行
- ハラール認証申請の管理と規制
- 技術評価および現地調査を行うための\*\*Lembaga Pemeriksa Halal (LPH/ハラール検査機関) \*\*の任命

BPJPHは、**2014年の政令第33号**および**2024年の政令第42号**に基づいて運営されており、インドネシアにおけるハラール認証に関する法的枠組みを整備しています。

<sup>3</sup> <https://bpjph.halal.go.id/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### BPJPH によって実施されるハラール認証のカテゴリー

PJPH は、MUI（インドネシア・ウラマー評議会）およびLPH（ハラール検査機関）と連携し、以下の2つの主要な分野にわたってハラール認証を実施しています：

1) 食品および消費財	飲料、医薬品、化粧品、化学製品、生物学的物質、遺伝子組換え製品、または着用・使用・摂取されるその他の製品を含む、幅広い製品カテゴリー。
2) サービス	家畜の屠殺、食品の加工・保管・包装・流通・小売、食品サービス施設など、重要なサービス分野を対象。 この分類により、有形製品と主要サービスの両方がハラール基準に準拠していることが保証されます。

この分類により、有形の製品と不可欠なサービスの両方がハラール基準に準拠していることが保証されます。

### インドネシアにおけるハラール認証プロセス

インドネシアのハラール認証制度は、以下の3つの主要機関が連携して運用されています：



#### BPJPH (Badan Penyelenggara Jaminan Produk Halal)<sup>4</sup>

ハラール認証申請プロセスを規制・管理する責任を持つ政府機関。



#### LPH (Lembaga Pemeriksa Halal)<sup>5</sup>

BPJPH によって認定された独立のハラール検査機関。詳細な技術評価や現地監査を実施します。BPJPH は、これらの評価を実施するために正式に LPH を任命します。



#### MUI (Majelis Ulama Indonesia)<sup>6</sup>

宗教学者からなる非政府のイスラム組織。ハラールに関する\*\*ファトワ（宗教的判断）\*\*を発行する最終的な権限を持ちます。LPH によって提出された監査報告を審査し、製品がイスラム教の原則に準拠しているかを審議したうえで、最終的なハラール認証の可否を決定します。

<sup>4</sup> <https://www.linkedin.com/company/bpjph-ri/>

<sup>5</sup> <https://lphhidayatullah.id/>

<sup>6</sup> <https://mui.or.id/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

ハラール監査が完了すると、LPH（ハラール検査機関）はその結果を MUI（インドネシア・ウラマー評議会）に提出し、MUI がその報告を精査し、ハラール基準への適合可否について最終判断を下します。その後、BPJPH（ハラール製品保証運営機関）が正式なハラール認証書を発行し、その製品のハラールステータスを確定させます。

このような綿密な枠組みにより、BPJPH のハラール認証はインドネシア国内外で高く評価されています。

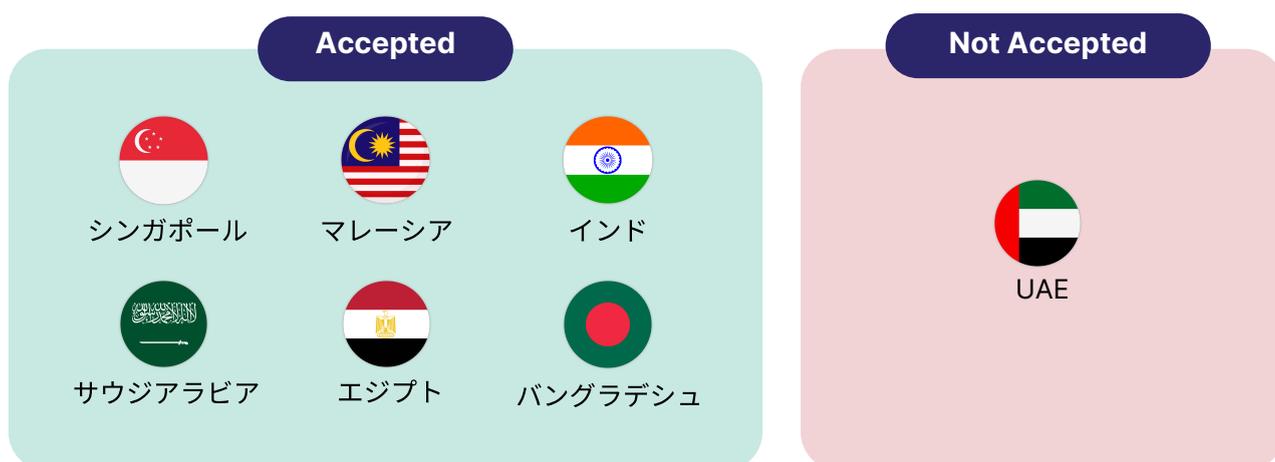


図8: BPJPHハラール認証の受け入れ状況

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### インドにおけるハラール認証機関 — 分散型の枠組み

ハラール認証を統括する中央機関が存在する国とは異なり、インドでは分散型モデルが採用されています。国内に明確なハラール規制が存在しないため、認証は複数の民間企業や非営利団体によって実施されます。

これらの団体は、インド認証機関国家認定委員会（NABCB）により認定を受け、主に食肉やその他食品の輸出向けにI-CASハラール認証を発行する権限を持ちます。

### インドにおけるハラール認証機関の規制上の役割

インドのハラール認証制度の特徴は、単一の規制機関ではなく独立した組織に依存している点です。これらの機関は自主的に活動し、食品、医薬品、化粧品、物流など、さまざまな分野で認証サービスを提供しています。

主な責務は以下の通りです：

- 監査の実施および、複数の業界にわたる企業に対するハラール適合証明書の発行
- 認証された製品がイスラム教の食事規定に準拠し、非ハラール成分を含まないことの確認
- シンガポールの MUIS やマレーシアの JAKIM といった国際的に認知された機関の基準と整合させることで、ハラール認証製品の国際貿易を促進

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### ハラール認証のカテゴリー

インドでは、3つの主要なハラール認証機関が業界ごとの認証を提供しています：

	Halal India Private Limited <sup>7</sup>
概要	120か国以上で認知され、MUIS（シンガポール）やJAKIM（マレーシア）などの国際機関により認定されている有力な民間認証機関。
対象分野	化粧品、物流、観光、航空機内食、医療ツーリズム、FMCG（消費財）製造業、貿易
組織形態	民間企業
認証の種類	航空機内食、貿易・商業認証、物流、FMCG製造業者

	Jamiat Ulama-i-Hind Halal Trust (JUHT) <sup>8</sup>
概要	Jamiat Ulama-i-Hind の下で活動する非営利団体で、さまざまな業界に対してハラール認証を提供
対象分野	レストラン、ホテル、病院、加工食品製造業、屠殺場
組織形態	非営利トラスト
認証の種類	食品製造、医薬品、化粧品、食品サービス施設

<sup>7</sup> <https://halalindia.co.in/>

<sup>8</sup> <https://www.jamiathalaltrust.org/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関



### JUIF Certification Pvt. Ltd.<sup>9</sup>

概要	以前は「Juiat Ulama Halal Foundation」として知られていた本民間組織は、Juiat Ulama-e-Maharashtraの下で運営されています。
対象分野	食品、化粧品、パーソナルケア製品
組織形態	民間企業
認証の種類	屠殺場、食品・飲料製品、食品サービス施設

### 認証申請プロセス

インドにおけるハラール認証の取得プロセスは、一般的に以下のステップで構成されます：

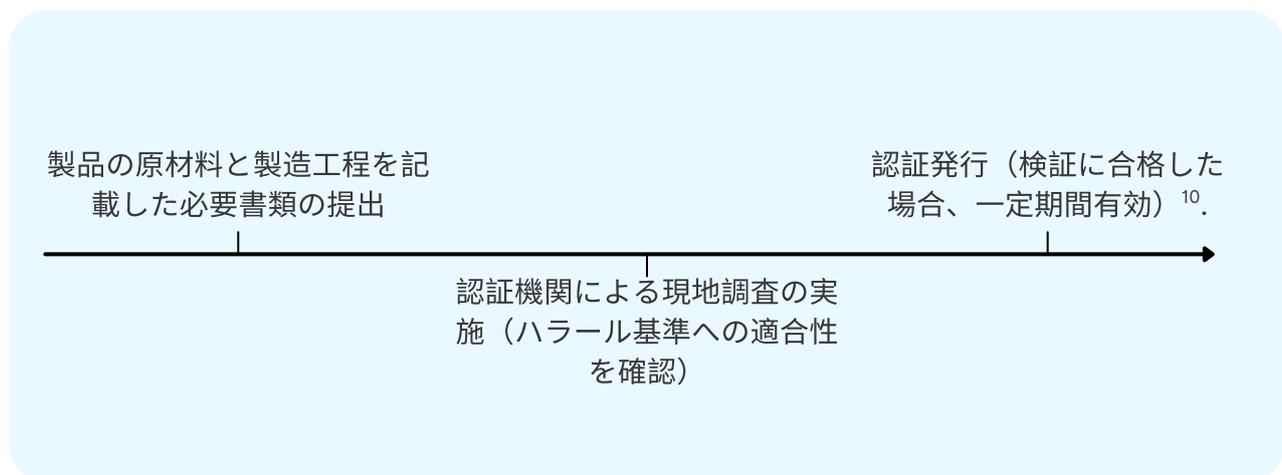


図9: インドにおけるハラール認証申請の流れ

ハラール認証を取得したい企業は、認定された認証機関のいずれかと連携して、上記のプロセスを開始する必要があります。

<sup>9</sup> <https://halalhind.com/>

<sup>10</sup> <https://halalindia.co.in/halal-certification-process/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

インドには政府公認のハラール認証機関が3つありますが、その中でも Halal India の認証は、国際的に最も広く認知されています。

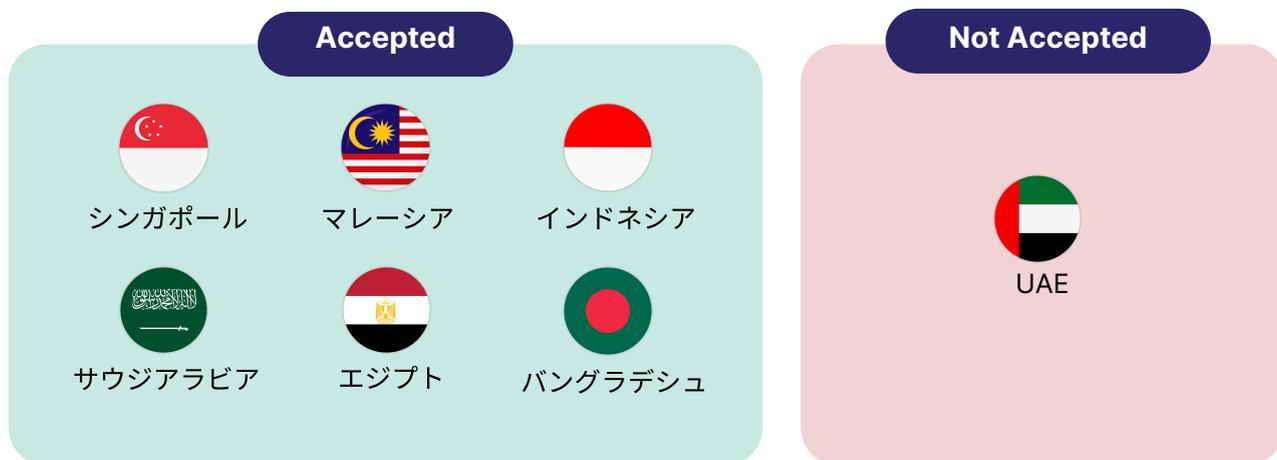


図10: インドのハラール認証の受け入れ状況

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### Bangladesh・イスラム財団（BIF） - Bangladesh唯一のハラール認証機関<sup>11</sup>



図 11: BIF ロゴ

Bangladesh・イスラム財団（BIF）は、宗教省の監督のもとで運営されており、 Bangladeshにおけるハラール認証を管轄する唯一の機関です。

1975年に設立されて以来、BIFはイスラムの原則の推進に注力し、近年ではハラール認証の規制において重要な役割を果たしています。2023年に Bangladesh初の正式なハラール認証ポリシーが導入されたことにより、BIFは「ハラール」として販売されるすべての製品が、イスラム教の食事規定と国際基準に準拠していることを保証しています。

### BIFの規制上の役割

ハラール認証を監督する中央機関として、BIF（ Bangladesh・イスラム財団）は、すべての認証製品がシャリーア（イスラム法）の原則に準拠していることを保証する責任を担っています。主な責務は以下のとおりです：

- 食品、医薬品、化粧品、その他の消費財に対するハラール認証および公式ハラールロゴの発行における唯一の権限を持つ機関としての役割
- ハラール基準への適合性を確認するための検査および認証の実施
- 国内で製造された製品を国際的に認められたハラール基準に合わせるために企業と連携し、輸出を促進
- ハラール製品と非ハラール製品との交差汚染を防ぐための厳格な監査と検査の実施

BIFの認証制度は、消費者の信頼を高めることを目的としており、 Bangladesh企業が拡大する世界のハラール市場で効果的に競争できるよう支援しています。

<sup>11</sup> <https://islamicfoundation.gov.bd/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### BIFが提供するハラール認証の種類

さまざまな業界のニーズに対応するため、BIFは以下の分野にわたってハラール認証を提供しています：

食品	加工食品、飲料、食品原材料のハラール認証
医薬品	医薬品および健康補助食品がハラール基準に準拠していることを確認
化粧品およびパーソナルケア	スキンケア製品、トイレタリー用品、その他のパーソナルケア製品の認証
屠殺場	屠殺の方法がイスラムの規範（ザビーハ）に従っていることを確認
レストランおよびホテル	ハラール対応の食事を提供する飲食施設の認証
輸出品	海外市場向け製品に対するハラール認証の提供

この包括的な認証制度により、企業は国内の規制と国際的なハラール基準の両方に準拠した製品を提供することが可能になります。

### 認証申請プロセス

BIF（バングラデシュ・イスラム財団）からハラール認証を取得するためのプロセスは、以下の厳密なステップで構成されています：

#### 書類の提出

企業は、製品の原材料、製造プロセス、製造施設に関する詳細な記録を提出する必要があります。

#### 現地検査

認定担当者が製造施設を訪問し、イスラム教のガイドラインに基づいた適合性を確認するとともに、非ハラール成分との交差汚染の防止を検証します。

#### 認証の発行

評価が完了し適合と判断された場合、BIFがハラール認証を発行します。この認証は1年間有効で、継続的な適合性が確認できれば更新可能です。

#### 初期評価

BIFが提出された資料を予備的に審査し、認証の対象となるかどうかを判断します。

#### 試験分析

提出されたサンプルを厳密に検査し、非ハラール成分が含まれていないことを確認します。

図12: BIFハラール認証の申請プロセス

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

Bangladesh は包括的なハラール認証制度を導入していますが、BIF（ Bangladesh Islamic Finance ）の認証は設立から日が浅いため、公式な認知と受け入れは限定的な状況にあります。

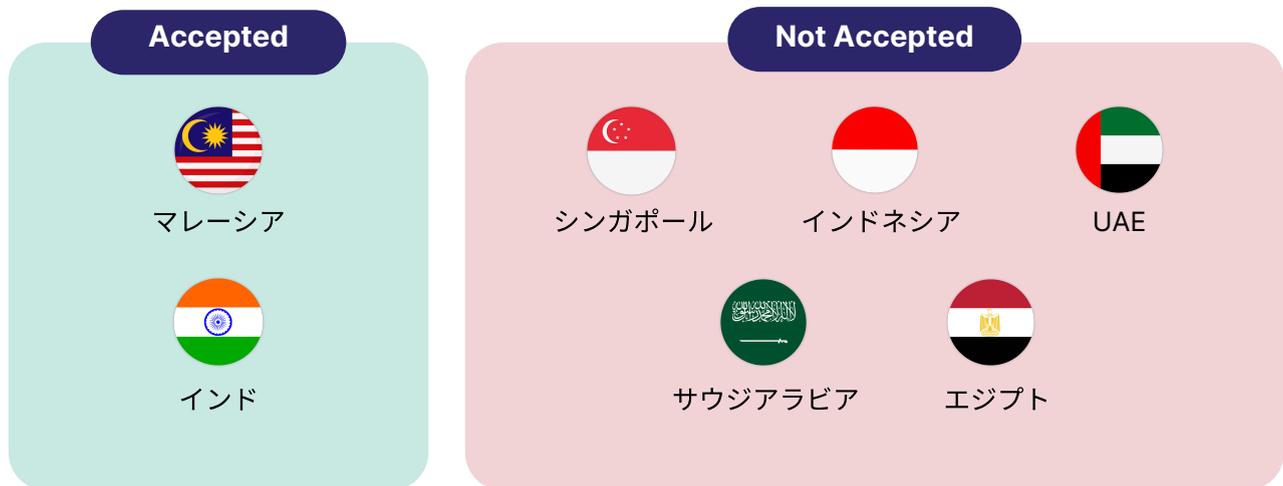


図13: BIFハラール認証の受け入れ状況

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### 産業・先端技術省（MOIAT）－UAEにおけるハラール認証の管轄機関<sup>12</sup>



図 14: MOIAT ロゴ

産業・先端技術省（MOIAT）は、アラブ首長国連邦（UAE）におけるハラール基準の監督を担う主要な政府機関です。MOIAT はハラール政策の策定と規制を行います。実際の認証業務は、認定された民間および国際的な認証機関が政府の代理として実施します。この制度により、ハラール認証がUAE固有の規制と国際的な基準の両方に準拠していることが保証され、世界有数のハラール市場における消費者および企業の信頼が構築されています。

### MOIATの規制上の役割

MOIATは、UAEにおけるハラール基準の中央規制機関として、以下の責務を担います：

- ハラール認証に関する規制機関としての役割を果たす
- 民間および外国の認証機関に対し、ハラール審査を実施する権限を付与
- GCC（湾岸協力会議）加盟国で義務付けられている「GSO（湾岸標準化機構）技術規制」の順守を確保
- GSO標準をUAE独自の規制と併用するための任意ベンチマークとして導入

MOIATはGCC域内の基準に合わせることで、域内・国際間の貿易を促進しつつ、厳格なハラール認証の監視体制を維持しています。

<sup>12</sup> <https://moiat.gov.ae/en/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### MOIAT によって提供されるハラール認証の種類

MOIATは、認定された認証機関を通じて、さまざまな業界を対象とした幅広い認証制度を提供しています。主な分野は以下のとおりです：

動植物の飼育・栽培	家畜の飼育、農業活動などに関する認証
食品・飼料の加工	食品製造、屠畜、飼料の生産・流通を含む認証
ケータリング	食品の調理、保存、提供サービスに関する認証（消費を目的としたもの）
小売・輸送・保管	食品の物流管理、流通、保管サービスに関する認証
補助サービス	包装資材、食品機器製造、その他の補助的サービスなど、食品生産に関わる二次的活動に対する認証
生化学製品	ビタミン、酵素、ミネラル、肥料、革製品、化粧品などの生化学製品に関する認証

この幅広い対象分野により、さまざまな業種の企業がハラール基準に沿って業務を整合させることが可能になります。

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### 認証申請プロセス

UAEにおけるハラール認証の申請は、MOIAT（産業・先端技術省）に認定された第三者認証機関、またはサウジ食品医薬品庁（SFDA）を通じて行われます。

申請プロセスは以下のとおりです：

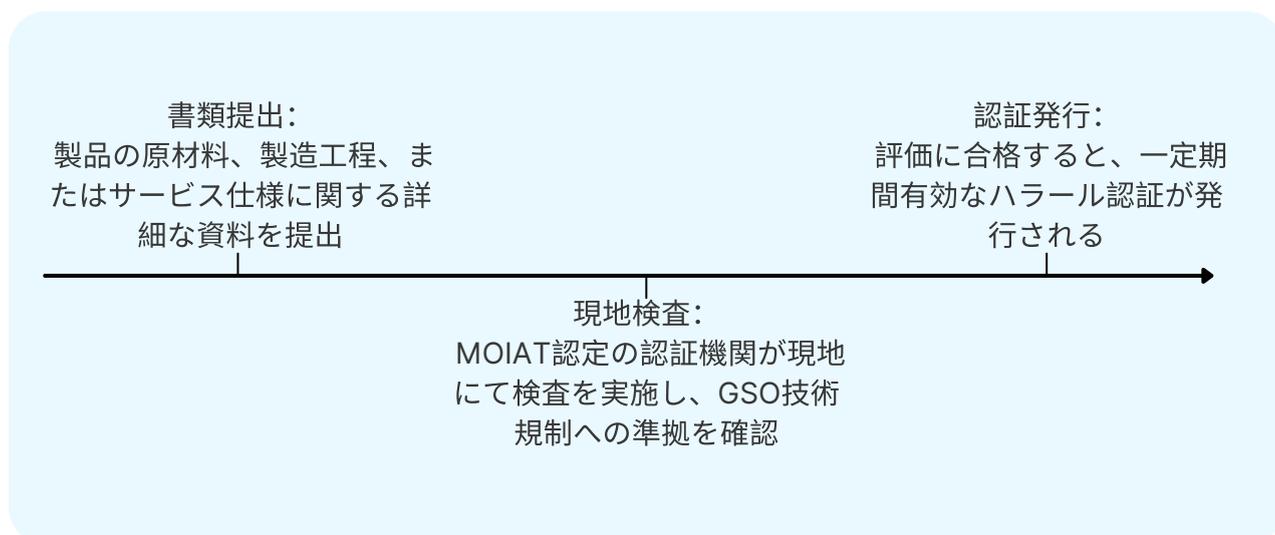


図15: MOIATハラール認証の申請プロセス

この効率的な仕組みにより、企業はUAE国内およびGCC（湾岸協力会議）全体のハラール要件を迅速かつ確実に満たすことが可能です。

厳格な基準に基づく MOIAT のハラール認証は、特に中東地域を中心に国際的にも高く評価されています。

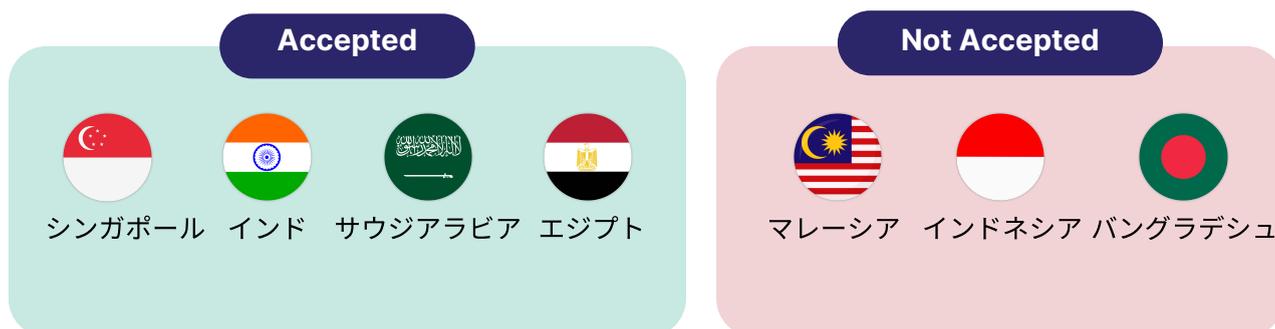


図16: MOIATによるハラール認証の受け入れ状況

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### サウジアラビア食品医薬品庁（SFDA） - サウジアラビアにおけるハラール認証の規制当局<sup>13</sup>



図 17: SFDA ロゴ

サウジアラビア食品医薬品庁（SFDA）は、サウジアラビア国内における食品および飼料に関する規制と基準（ハラール認証を含む）の策定を担う政府機関です。

SFDAは、サウジ国内法および湾岸協力会議（GCC）の枠組みに基づき、国内外の認証機関によるハラール認証申請の監督と認定を行っています。

#### SFDAの規制上の役割

サウジアラビアにおけるハラール基準を規制する主要機関として、SFDAはイスラム教の食事規定に対する厳格な準拠を確保する上で重要な役割を果たしています。

主な責務は以下のとおりです：

- サウジおよびGCC法に基づく食品および飼料に関する包括的な規制と基準の策定
- ハラール認証の申請監督と、基準への準拠状況の確認
- 国内外の認証機関に対して、ハラール評価の実施を認可
- \*\*GCC湾岸標準化機構（GSO）\*\*の枠組みに基づき、加盟国で義務化されている技術規則（GSO Technical Regulations）を施行
- GSO基準を任意のベンチマークとして導入しつつ、サウジ独自の規制枠組みも維持

SFDAは、厳格な監督体制によって、王国内でのハラール認証の信頼性と正当性の維持に中心的な役割を果たしています。

<sup>13</sup> <https://www.sfda.gov.sa/en>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### SFDAによるハラール認証のカテゴリー

サウジアラビア食品医薬品庁（SFDA）は、以下の6つの主要なハラール認証スキームを監督しており、それぞれに細分化された分類があります：

農業	動物の飼育：家畜の飼育および屠畜を対象
	植物の栽培：ハラール基準に準拠した農業活動を認証
食品および飼料の加工	食品製造：食品の生産および加工を含む
	動物飼料の流通：家畜用飼料がハラール要件を満たしていることを保証
ケータリング	食品の調理、保管、消費を目的とした流通に関する認証
小売・輸送・保管	食品流通：物流およびサプライチェーン管理を対象
	輸送および保管サービスの提供：ハラール認証製品の取り扱いに関する基準準拠を保証
補助サービス	食品関連サービス：ハラール食品産業に関連する補助的な活動を含む
	食品包装および包装資材の製造：包装材がハラール性を損なわないことを認証
	食品加工機器の製造：食品加工に使用される機械・器具がハラール基準に準拠していることを保証
生化学製品	ビタミン、酵素、ミネラル、肥料、皮革製品、化粧品などの生化学製品の製造を対象

これらの認証スキームは、多様な業界におけるハラール原則への適合を支援します。

1) 食品および消費財	飲料、医薬品、化粧品、化学製品、生物学的物質、遺伝子組換え製品、その他の消費物を含む幅広い製品群を対象。
2) サービス	屠畜、食品加工、保管、包装、流通、小売、食品サービス施設など、主要サービス分野を対象。

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### 認証申請プロセス

サウジアラビアでのハラール認証申請は、SFDA（サウジ食品医薬品庁）に直接提出するか、SFDA認定の認証機関を通じて提出することができます。

詳細な手続きは出典に明記されていないものの、一般的な流れは以下のとおりです：

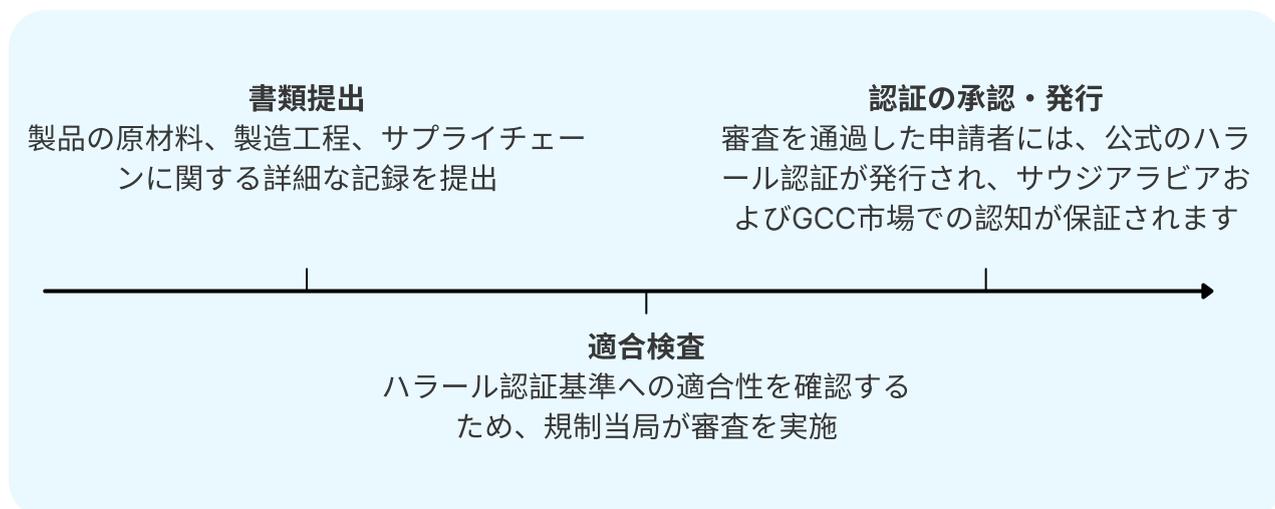


図18: SFDAハラール認証の申請プロセス

この厳格な申請プロセスにより、最高水準のハラール認証基準への準拠が保証されます。

SFDAは、国内法およびGCC全体の要件の両方に適合した制度を採用しており、ハラール製品が最も厳格なイスラム食規定に適合していることを保証します。これにより、国内外の関係者の間で高い信頼を築いています。

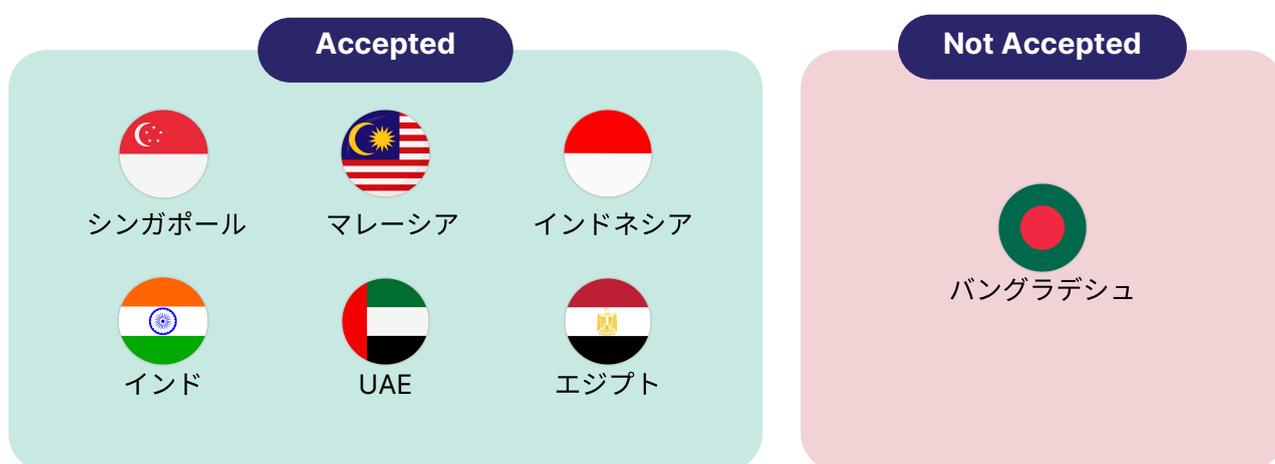


図19: SFDAによるハラール認証の受け入れ状況

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### エジプトのハラール認証機関 — 二重構造

エジプトは二重のハラール認証体制を採用しており、イスラム教の食事規定の順守を確保するために2つの主要な機関が任命されています。Egyptian Organisation for Standardisation and Quality Control (EOS) は国内で製造された製品の認証を担当し、一方で IS EG Halal はエジプト市場に流入する輸入製品の認証を監督しています。この構造化された仕組みにより、国内製品および国際製品の両方が、必要なハラール基準に準拠していることが保証されます。

### EOSとIS EG Halalの規制上の役割

エジプトのハラール認証制度は、この2つの機関の間で**明確な責任分担**がなされていることによって特徴付けられます：

#### a) エジプト標準・品質管理機構 (EOS) <sup>14</sup>



図 20: EOS ロゴ

- **概要:** EOS は 1957年に設立され、**エジプトで最も権威あるハラール認証規制機関**として機能しています。**政令 No. 561/2012** に基づき運営されており、**イスラム法 (シャリーア)** に基づく**エジプトのハラール基準**の策定を担っています。
- **主な責務:**
  - EOS 内のハラール部門を通じてハラール認証の適合性を評価
  - エジプトのハラール基準の策定と維持
  - 認証機関の**適格性評価**
- **認証対象の範囲:**
  - **食品、化粧品、パーソナルケア製品**など、エジプト国内で製造された製品に適用されます。

<sup>14</sup> <https://www.eos.org.eg/en>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### b) IS EG Halal<sup>15</sup>



図 21: IS EG Halal ロゴ

- **概要:** IS EG Halal は、輸入製品に対するハラール認証の**唯一の権限**を持つ機関です。独自のハラールマーク（Halal Mark）を発行していますが、IS EG Halal によって発行されるすべての認証は、**EOS（エジプト標準・品質管理機構）基準**に準拠しなければなりません。
- **主な責務:**
  - ハラール認証を必要とする輸入製品の認証
  - エジプトのハラール基準（ES 4249）への準拠の確保
  - EOSの規制に則ったハラール認証申請の審査および承認

## ハラール認証のカテゴリー

### a) エジプト標準・品質管理機構（EOS）による認証

EOS は以下の2つの主要なハラール認証制度を提供しています：

食品製品の認証	<ul style="list-style-type: none"><li>• 包装食品</li><li>• 肉類・鶏肉製品</li><li>• 乳製品</li><li>• 飲料</li><li>• 加工食品やスナック</li></ul>
化粧品・パーソナルケア製品の認証	<ul style="list-style-type: none"><li>• スキンケア・ヘアケア製品</li><li>• メイクアップ・美容製品</li><li>• ハイジーン用品（石鹸、デオドラント等）</li><li>• 香水およびその他のパーソナルケア用品</li></ul>

<sup>15</sup> <https://www.iseghalal.com/>

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### b) IS EG Halal

IS EG Halal は、以下を含む幅広い認証カテゴリーを提供しています：

農業	家畜、乳製品、農産物に関する認証
加工	生鮮食品、長期保存可能な包装食品、植物由来製品の認証
飼料生産	単一または混合された食品原料由来の飼料に対する認証
流通	卸売および小売のサプライチェーンに対する認証
サービス	ハラール食品生産に関連する補助サービスの認証
輸送・保管	ハラール認証製品を取り扱う車両や保管施設の認定
化学・生化学製造	食品添加物、肥料、ビタミン、ミネラルに関する認証
包装材製造	食品包装・ラッピング資材の認定
その他の製品	革製品や化粧品など、非食品製品の認証

## 認証申請プロセス

### a) エジプト標準・品質管理機構（EOS）

- 国内製造製品のハラール認証を希望するメーカーは、EOS本部に直接申請する必要があります。
- すべての書類はアラビア語で提出しなければなりません。

## IV) 対象国におけるハラール認証機関

### b) IS EG Halal

- 輸入製品のハラール認証を希望する海外申請者は、IS EG Halalのウェブサイトを通じてオンライン申請を行う必要があります。
- 申請書類は英語で提出しなければなりません。
- IS EG Halal により処理されたすべての申請は、最終的に EOS による承認が必要です。
- エジプトのハラール認証は国内では広く認知されていますが、国際的な受け入れは、相互認証協定の不足により制限されています。

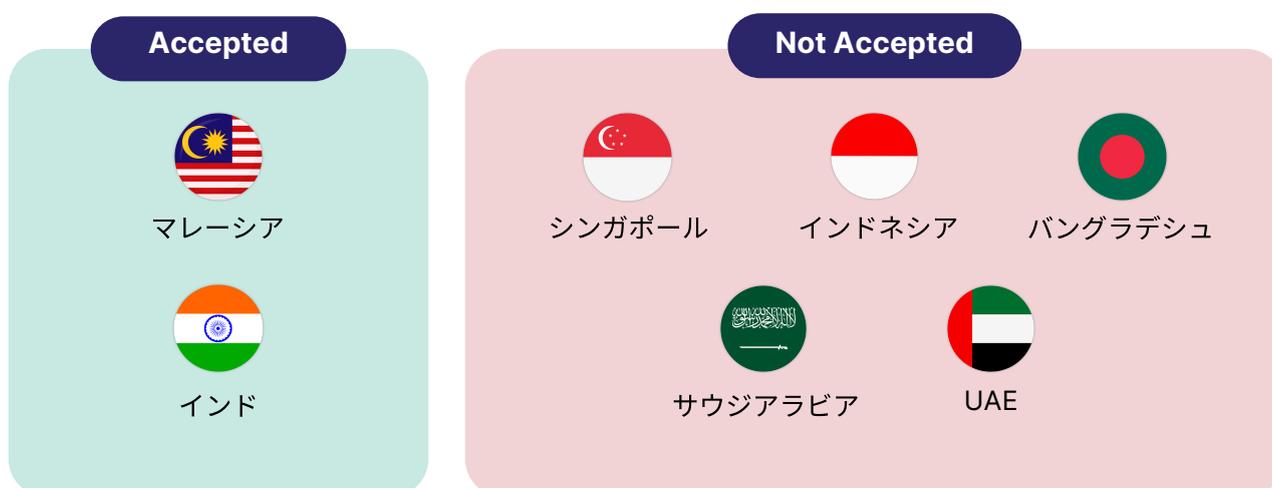


図22: エジプトのハラール認証の受け入れ状況